



技術シンポジウム『未来につなぐ九州の道 ～安心・安全な道路、今できることは？～』を開催

概要

今後、社会資本の多くが老朽化に伴う機能低下という問題に直面することとなりますが、その機能の維持・回復のためには日常のメンテナンス及び抜本的な補修工事が必要不可欠と考えられます。

国立大学法人九州大学（総長 有川節夫）は、社会資本の中でも基本的なインフラである道路にスポットをあて、その維持管理の必要性について広く市民の方と議論することを目的とし、技術シンポジウム「未来につなぐ九州の道 ～安心・安全な道路、今できることは？～」を開催いたします。

■背景

九州の道路は、戦後の高度経済成長とともに順次整備されてきましたが、その路線の多くは長い年月が経過しており、今後、高齢化（老朽化）が急速に進行するという局面に入りつつあります。道路は、日頃適正な維持管理を行っていても、日々風雨にさらされ、繰り返される車両の载荷により、少しずつダメージを蓄積しています。長い年月の経過により、ダメージが増大しそれによる損傷が表面化してきたときには、道路構造物としての機能が低下した状況になり、その対応を怠れば重大な事故や致命的な損傷等が発生するリスクが非常に高まることが予想されています。このような状況において、安心・安全の確保に不可欠で健全な道路を維持するためには、更なる善良な維持管理と着実な補修が必要となってきます。

本シンポジウムでは、子供たちに安心・安全で明るい未来を引き継ぐために、今、私たちができることを見つめ直し、インフラ整備・観光・地域づくりなどの観点から道路の維持管理に関する幅広い議論を行います。

■内 容（別添のチラシを参照）

日 時：平成22年7月10日（土）

13：30～ 開会挨拶

日野 伸一（九州大学大学院工学研究院長）

13：40～ 第一部

・基調講演「高齢化していく道路インフラとの付き合い方」

講師：藤野 陽三（東京大学大学院 教授）

・特別講演「湯布院の活性化のために」

講師：桑野 和泉（由布院温泉「玉の湯」 社長）

15：20～ 第二部

・パネルディスカッション

「未来につなぐ九州の道 ～安心・安全な道路、今できることは？～」

コーディネーター：日野 伸一（九州大学大学院 工学研究院長）

パネリスト：桑野 和泉（前掲）

藤野 陽三（前掲）

玉川 孝道（㈱西日本新聞会館 社長）

濱砂 圭子（㈱フラウ 社長）

岡本 博（国土交通省 九州地方整備局 局長）

久保 晶紀（西日本高速道路㈱ 九州支社 支社長）

会 場：イムズホール（福岡市中央区天神1-7-11 イムズ9階）

対 象：一般市民の方350名（参加費無料、事前登録が必要）

【お問い合わせ】

九州大学大学院工学研究院長 日野 伸一

電話：092-802-2700

FAX：092-802-2712

Mail：hino@doc.kyushu-u.ac.jp